



日本生殖看護学会会員および生殖看護に関心のある
看護職の皆様へ

日本生殖看護学会理事長 上澤 悦子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年から引き続き、今年も COVID-19 感染防御のため、あらゆる医療機関での日々の戦いの継続の日常と存じます。さらに、今年は生殖医療界においても様々な変革が起こっております。

私たちは、何よりも患者様や未来の子どもたちのために少しでもより良いケアを提供できるよう一層精進しなければなりません。

昨年、府中のぞみクリニック不妊症看護認定看護師 奥島美香氏を学術集会長として企画しておりました第 18 回学術集会は残念ながら中止せざるを得ませんでした。今回、昨年の学術集会のテーマを活かした「治療への選択肢を支える生殖看護の力」を研修会テーマとし、生殖看護教育研修会・不妊症看護認定看護師ポストコースとして、教育推進委員長 柴田文子氏および青柳優子氏を中心にオンデマンド方式(一部ライブ配信)での研修会を開催することになりました。本学会理事長として、会員の皆様および生殖看護に興味がある看護職の方々への貢献が少しでもできることに安堵と是非とも参加いただきますことをお願い申し上げます。

すでにニュースレターや HP でも内容を発信していますが、前学術集会長講演演題「様々な価値観を支える支援」を奥島氏からの配信、会員の皆様にも研究にご協力いただきました科研「生殖看護に関わる看護師に求められるコンピテンシー」は、本学会副理事長の野澤美恵子氏からの配信、そのほか、生殖医療における遺伝検査と患者の意識変化について外部講師にご依頼し、非常に興味深い研修会としての4講演をお届けできます。また、不妊症 CN 限定の情報交換会を村上貴美子氏と藤島由美子氏からの報告を交え、2月28日にライブ配信いたします。1月12日から本学会 HP 上から参加申し込みをしていただきますと、2月27日から3月7日までの約10日間、自由に何度でも都合の良い時間帯に視聴できます。

皆様が一同に集まって意見交換できる学術集会開催は、今年も難しい状況が継続します。このような状況下のなか、私たちは前進する力を持ち続けるためにも、皆で新しい知識を獲得していきましょう。まずは、皆様のご健康とご多幸を祈願し、挨拶とさせていただきます。